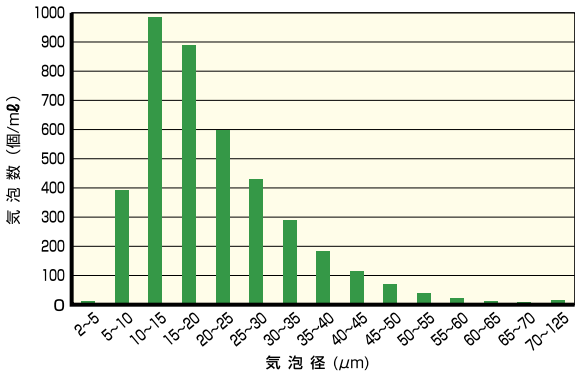


各種データ

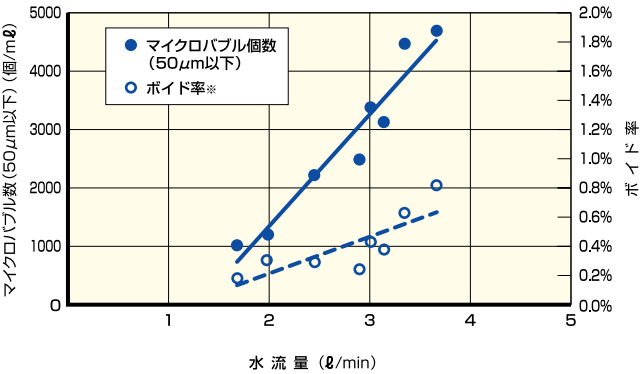
気泡径分布



試験条件 気 温：16.8℃
水 温：10.0℃
水流量：2.76ℓ/min
水 圧：0.145MPa
水 深：約20cm

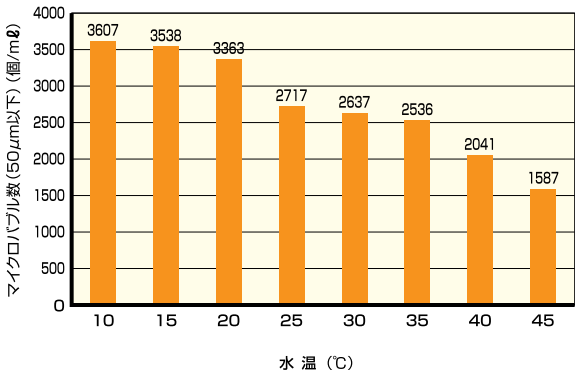
計測装置 PMS社製リキッドパーティクルカウンター
LiQuilaz-E20-P
サンプル流量：40mℓ/min

水流量とボイド率・マイクロバブル数の関係



試験条件 気温・水温：約20℃
水 圧：0.065MPa～0.153MPa
(但し、水流量によって異なる)
※ボイド率＝空気流量÷水流量×100

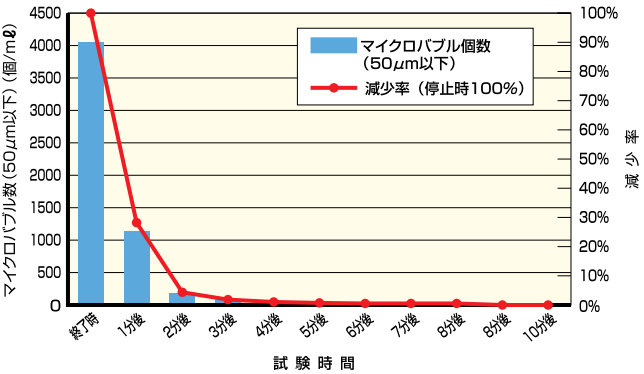
水温とマイクロバブル数の変化



試験条件 気 温：10.0℃
水流量：3.0ℓ/min
水 圧：0.146MPa
水 深：約20cm

計測装置 PMS社製リキッドパーティクルカウンター
LiQuilaz-E20-P
サンプル流量：40mℓ/min

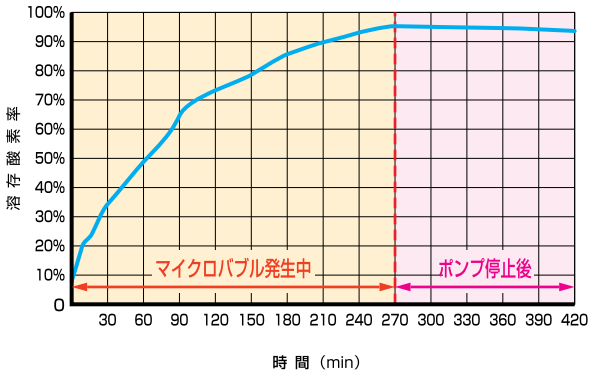
ポンプ停止後のマイクロバブル数の変化



試験条件 気 温：10.0℃
水流量：3.0ℓ/min
水 圧：0.146MPa
水 深：約20cm

計測装置 PMS社製リキッドパーティクルカウンター
LiQuilaz-E20-P
サンプル流量：40mℓ/min

溶存酸素率変化 (時間変化)

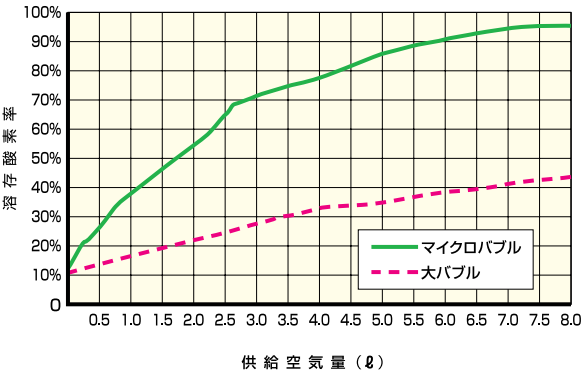


試験条件 気 温：10.6℃
水 温：11.6～26.0℃
水流量：3.08ℓ/min
水 圧：0.142MPa
水 深：約20cm

計測装置 セントラル科学社製DO計 CGS-5

※溶存酸素率100%の時の溶存酸素量を8.84ppm (20℃) とする。
※水道水に窒素を吹き込み、溶存酸素を一旦除去し、その後、大気自然吸引によるマイクロバブルを発生させる。

溶存酸素率変化 (供給空気量効率)



試験条件 気 温：10.6℃
水 温：11.6～26.0℃
水流量：3.08ℓ/min
水 圧：0.142MPa
水 深：約20cm

計測装置 セントラル科学社製DO計 CGS-5

※溶存酸素率100%の時の溶存酸素量を8.84ppm (20℃) とする。
※水道水に窒素を吹き込み、溶存酸素を一旦除去し、その後、大気自然吸引によるマイクロバブルを発生させる。